

平成26年度事業計画書（総括）

基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とした定款の趣旨に順じた次の2事業を展開する。

1 公益目的事業

- 下水道の普及啓発事業
- 下水道施設の管理運営支援事業
- 下水道技術者育成事業
- 下水道に関する調査研究事業
- 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

2 収益事業

- 下水道施設整備支援事業
- アセットマネジメント支援事業

平成26年度公益目的事業計画書

1 基本方針

平成26年度は、流域下水道施設については岩手県から、公共下水道施設については市町村から管理運営支援業務を受託し、適正且つ効率的な下水道施設の管理運営を支援するとともに、下水道知識の普及啓発及び下水道に関する技術研修並びに調査研究等について、産学官の連携により積極的に推進し、また、確実な排水設備の工事を実施するために必要な排水設備工事責任技術者資格を認定することとし、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与するため、次のとおりの事業を実施する。

2 事業内容

(1) 下水道の普及啓発事業

ア 下水道の役割や重要性を一般の方々にPRするため、「下水道の日」(9月10日)にちなんで「施設見学会」を開催すると共に、環境教育の一環である「下水道の学習」を取り入れている小学校や一般の施設見学の希望者に対し、見学案内等により下水道に関する知識の普及促進に努める。

イ 水洗化率向上や下水道の仕組みや役割を理解してもらうことを目的として、小学校から一般の方々を対象に地域に密着した「下水道出前講座」、小学生を対象とした「夏休み下水道教室」や外部でのイベント「なるほど下水道」を実施する。

ウ 東日本大震災以降全国からの復旧復興支援に感謝するとともに、未だ、復旧・復興が最盛期にあることを発信し、全国からの支援の継続を訴えるため、日本下水道協会主催の「下水道展'14 大阪」に出展する。

(2) 下水道施設の管理運営支援事業

ア 県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与するため、岩手県から管理運営支援業務を受託し流域下水道施設の適正且つ効率的な管理運営を支援する。

また、流域下水道施設内の省エネ化を図り、処理場の維持管理費を縮減するため、既存の照明をLED照明に交換する工事を行う。

イ 公共下水道施設の管理運営に必要な専門職員が不足している市町村から管理運営支援業務を受託し、公共下水道施設の適正且つ効率的な管理運営を支援する。

(3) 下水道技術者育成事業

ア 下水道管理者として習得しておくべき基本的な事項及び下水道施設の設計・積算から維持管理に必要な知識・技能について、技術研修を実施する。

イ 下水道の適正かつ効率的な管理運営を行うために、市町村職員が日本下水道事業団の「下水道研修」に参加する場合の受講料を助成する。

ウ 下水道の公営企業会計導入の動きなどへの支援として、市町村職員を育成することが急務であることから、「公営企業会計」をテーマとして研修を実施する。

(4) 下水道に関する調査研究事業

流域下水道施設における資源の有効利用など、効率的な管理運営に関する調査研究を行う。

岩手大学との共同研究「リン回収を目的とした汚泥処理工程での元素類の挙動調査に関する研究」を行う。

(5) 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

下水道法で規定する排水設備の設置基準や技術基準に基づき、受験講習会や更新講習会を実施し、排水設備工事責任技術者の資格を認定する。

平成26年度収益事業計画書

1 基本方針

本県の下水道整備を促進するため、下水道に関する技術支援が必要な県及び市町村に対し、下水道施設の設計、積算及び現場監督補助等を行うとともに、東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧・復興のための支援業務を実施する。また、下水道施設の適正且つ効率的な運用を支援するため、市町村に対し下水道施設の長寿命化計画を策定することとし、次のとおり事業を実施する。

2 事業内容

(1) 下水道施設整備支援事業

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計、積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行うとともに、東日本大震災津波による災害復旧のための技術支援を行う。特に、沿岸部の復興支援に重点をおき、被災した市町村からの要請には最大限対応していく。

(2) アセットマネジメント支援事業

公共下水道施設における設備台帳への基本データ入力や長寿命化計画策定業務を市町村から受託し、技術支援を行う。

平成26年度管理部門事業計画書

1 職員採用

法人の自立的運営を図るために、プロパー職員の計画的採用とその後の県派遣職員の削減に取り組み、平成26年度においては、平成27年4月採用の職員（機械職）を募集し、採用試験を実施する。

2 職員研修

(1) 基本研修

職員の職務と責任の度に応じて必要となる知識及び技能の習得を図ることを目的に、岩手県立産業技術短期大学校主催の能力開発セミナーを実施する。

(2) 専門研修

各種法令に基づく資格者の育成を目的とした研修、技術や知識の習得を目的とした外部の研修を実施する。

(3) 社内研修及び改善発表会

職員の資質向上と情報共有・情報交換を図ることを目的に、職員が講師となり研修会を実施する。

また、業務の適正かつ効率的な運営に向けて取り組んだ成果について発表する「改革改善成果発表会」を開催する。

3 東北下水道公社連絡会議

第27回東北下水道公社連絡会議を当公社が当番県として開催し、課題の共有と情報交換を図る。

※公益財団法人青森県建設技術センター、一般財団法人宮城県下水道公社、公益財団法人山形県建設技術センター、公益財団法人福島県下水道公社